

令和元年度年末年始建設業労働災害撲滅に向けた集中的取組の一環として神奈川労働局長による建設工事現場パトロールを実施

～横浜スタジアム増築・改修計画～

神奈川労働局（荻原俊輔局長）は、令和元年度年末年始建設業労働災害撲滅に向けた集中的取組の一環として令和元年12月16日（月）に、県内の建設業者の安全意識を高め、労働災害の防止の徹底を図ることを目的として、建設工事現場パトロールを実施しました。パトロールには神奈川労働局から局長、労働基準部安全課長、横浜南労働基準監督署長ほか全6名と建設業労働災害防止協会神奈川支部から支部長ほか全3名が参加しました。

今回パトロールを行った工事現場は、清水・馬淵・大洋共同企業体が元請として施工中の工事名称「横浜スタジアム増築・改修計画」です。既存の野球場の内野席の後方に個室観覧席等を建設、ライト側・レフト側スタンドの後方にスタンドを増設する工事で、令和2年2月末日の竣工に向けて、1日約120人の労働者が入場し、主にレフト側増設スタンドの内部の設備・内装・仕上工事等が行われている段階でした。

パトロールでは、躯体墜落防止設備や作業の状況などを点検しましたが、墜落防止対策などに問題はなく、管理状況は良好でした。





躯体の状況



朝礼看板



足場の墜落防止措置が適切に講じられている。



外国人労働者に配慮した表示



パトロールの後、テレビ神奈川のインタビューを受ける局長